本書における Society5.0 の理解

	現実空間	＜両者の関係＞	サイバー空間
工業社会 Society3.0	**■特徴１：物的生産の目覚ましい高度化** ・　軽工業　→　重工業　→　ハイテク工業（エレクトロニクス等） ・　大量生産　→　多品種少量生産 ・　垂直分業　→　水平分業 **■特徴２：難問の発生** ・　地球温暖化、自然現象、地球資源の枯渇の恐れ、人口爆発等 ・　サステナビリティーへの危惧	⇒ **■特徴３：現実空間の必要から派生**	**■特徴４：現実空間の必要からサイバー空間が派生** ・　情報通信機器の生産と活用 ・　情報通信ネットワーク化の進展 　－　コンピュータのスタンドアロン利用からネットワーク利用へ 　－　Ｃ＆Ｃ、ＶＡＮ（付加価値情報ネットワーク）構築 　－　コンテンツの重要性への気づき **■特徴５：サービス産業の一部として情報通信産業が登場** ・　docomo、KDDI、SoftBank 等の前身となる企業の登場
情報社会 Society4.0	**■特徴１：情報化を前提とした生産** ・　機器への情報デバイスの組み込み ・　ものづくりのモジュール化の進展 　－　すり合わせ技術の優位性の喪失 　－　組み合わせ技術の一般化 **■特徴２：もののコモディティー化** ・　工業製品の先行者利得の期間が次第に短縮 **■特徴３：ものが飽和した生活** ・　ものが売れない時代 **■特徴４：サービス消費のウェイト拡大** ・　体験（エクスペリエンス）の価値が増大 **■特徴５：難問の残存、新たな問題の発生** ・　地球温暖化、自然現象、地球資源の枯渇の恐れ、人口爆発等 ・　わが国の人口減少、少子高齢化、健康長寿への挑戦（難病、老化による健康低下）が新たな課題に	⇐ **■特徴６：データが物質を駆動**	**■特徴７：サイバー技術の飛躍的進化** ・　ソフトウェア・アプリの開発・普及、検索技術の進展および関連新企業の急激な成長 　－　各種ＯＳ、アプリ、デジタルゲーム、VR、AR 　－　マイクロソフト社、google 社、アップル社等 **■特徴８：サイバー空間の自己増殖** ・　サイバー空間の情報（バーチャルデータ）の流動量が爆発的に膨張 　－　データのストック、フロー、流動量ともに増大 ・　データの集積・処理のクラウド化 ・　ＳＮＳによるＰ2Ｐのコミュニケーション量の増大 　－　Web、ブログ、facebook、Line、Twitter 等 **■特徴９：データによる物質の駆動の始まり　－　Web による生産、売買、物流の発生** ・　ｅコマース（Ｂ2Ｃのネット通販等） 　－　楽天、amazon、モノタロウ、アスクル等 ・　シェアリングエコノミー型ビジネス 　－　Airbnb、Uber、Anytime、Lancers、スペースマーケット、ラクスル等 ・　Ｐ2Ｐのニーズマッチング 　－　メルカリ等 ・　ＩｏＴ、ＣＰＳ（cyber physical system）の始まり
新社会 Society5.0	**■特徴１：経済社会の運営コストが格段に低下** ・　シェアリングエコノミー（資産の共有、所有から使用へ） ・　サーキュラーエコノミー（地球環境負荷の軽減、資源枯渇の克服） ・　インフラ等の社会的共通資本のスマートな運用 **■特徴２：多くの難問の解決** ・　地震、台風、火山活動、温暖化等自然現象の解明・予測精度の向上 ・　難病の克服、健康長寿の実現等 ・　ソーシャルビジネスの成長 **■特徴３：生活者の幸福度がこれまでの社会で最も向上** ・　重労働、退屈な労働からの解放、自由時間の増大 ・　自己実現機会の増大 ・　多文化共生、多様性を許容する寛容な社会 **■特徴４：変化スピードの高速化** ・　現実空間とサイバー空間を融合したビジネスモデルの不断の変転	⇒ ⇐ **■特徴５：相互に駆動しあう関係** ・　現実空間の情報（リアルデータ）がサイバー空間に転写され、処理メカニズムを駆動 ・　サイバー空間のデータの処理結果が現実空間を駆動	**■特徴６：データ駆動型社会の本格展開** ・　データが現実空間を本格的に駆動 　－　Ｂ2Ｃ、Ｐ2ＰにプラスしてM2Mのデータコミュニケーションによる物質の駆動 　－　データの資源化、ビッグデータの活用の一般化、オープンデータ化による現実世界の駆動 　－　サイバー空間内の生産物は限界コストが限りなくゼロ **■特徴７：経済社会全般のデジタルツイン化** ・　現実空間において時々刻々変化するリアルデータを丸ごとサイバー空間に転写 　－　センサーがインフラ、生産、物流、交通、医療、生活等に広く実装。情報を吸上げ、データ化 　－　バーチャルデータとは比べものにならない膨大な量の現実空間のリアルデータが蓄積 　－　リアルデータの処理・加工結果を現実空間にフィードバック。ＩｏＴ、ＣＰＳの本格的展開 **■特徴８：ＡＩの社会への本格的実装** ・　ＡＩが生産、物流、交通、医療、生活等広く社会一般に実装 ・　人間労働の機械（ロボット等）による代替の全面的な展開 ・　ビッグデータ解析の優劣がビジネスの優劣を決定

膨張

膨張